

# 総務

## 『今年度予算』 合併以来最大に



総務常任委員長  
森 治史

### ★携帯電話整備事業費

大方地域の本谷と伴太郎地区の工事費用です。この工事で携帯電話不感知地域は全て解消されます。

3481万円

### ●25年度一般会計予算

91億9200万円

平成18年の合併以来最大規模の予算になりました。

### ○歳入の主な内訳

・町税	7億7千万円
・地方交付税	38億8千万円
・国庫支出金	8億3千万円
・県支出金	10億6千万円
・基金繰入金	2億7千万円
・町債(借金)	17億4千万円

### ○歳出の主なもの

★情報通信費保守料	2500万円
庁舎内のコンピューターシステムの保守料	2500万円
別会計	1億6千万円

この事業は事業費を補てんするため、8153万円を繰り入れています。(一般会計より、6694万円、基金より1439万円)

加入料の無料化でテレビの加入は少し増え、テレビ38.

4%、インターネット19%の加入率ですが、借入金の返済があり、今後の他会計からの繰り入れは増額になります。

使用料金の滞納繰越金は、テレビ6万円、インターネット25万円、計31万円あります。

委員から、自主放送や、データ放送、ホームページ等に古い情報が混じっているので、常に整理をし、新しい情報に更新すべきではないかと提案がありました。

新庁舎の完成は、平成28年度の予定です。

1386万円

### ●25年度情報センター事業特

### ★避難道等整備工事費

町内65カ所の避難道等を予定しています。道路整備用地は基本的には無償提供なので、仲介者2名を考えています。

5億9千万円



# 産業建設

## 『新産業創造事業』 ビジネスの可能性を探る



産業建設常任委員長  
矢野 昭三

### ●鳥獣被害対策実施隊誕生

鳥獣の被害が年々増大し、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加をもたらしている。そのため、鳥獣被害防止のための特別措置法に基づき、黒潮町鳥獣被害対策実施隊を設置し、被害防止を強化する。隊は4月から発足しその身分は町の非常勤職員となる。

### ●新産業創造計画策定始まる

町の産業振興と雇用の創出を目的とした新産業創造計画が町長から提案された。議員が協議会で町長自らビジネスの説明をするなど力のこもった姿勢が見えた。

委託先は高知工科大、新産業創造計画策定業務、総合プロデュースや事業全体のコーディネートの他、新商品を作れる予定。津波高全国一の町黒潮町で備蓄品として缶詰を作り、ビジネスにつなげる構想。

2270万円  
オスマジオスに平成25年4月1日から平成30年3月31  
有限会社オスマジオスの指定管理者決定

### ●避難道を整備するための10路線を町道に認定

大向浜畑支1号線、ミアゲ線、城山線、スケン谷線、柳川支1号線、西松崎線、須賀線、シヨウブガ谷線、シヨウブガ谷支1号線、野田の坂線。

### ●環境ふれあい交流施設ビオスおおがた(道の駅)の指定管理者決定

2270万円  
オスマジオスに平成25年4月1日から平成30年3月31  
有限会社オスマジオスの指定管理者決定